

千葉県東総文化会館指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県東総文化会館
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和3年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	県東部地域における文化芸術振興の拠点として、地域における文化活動支援や鑑賞機会の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）				
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B) ※2	使用料等 県収入(C)	県の収支 (C-A-B)	(参考) 利用料金
令和3	30,697	149,118	18,046	74	△167,090	15,566
(参考) 令和2	14,683	149,501	43,307	64	△192,744	6,178

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目		評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報も適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
	安全性の確保	S	舞台・照明・音響設備については、事前の動作確認を行い、事故防止の徹底を図った。労働安全衛生法の改正を踏まえ、舞台上の高所作業における安全対策の強化を図った。年2回の総合防災訓練では、津波を想定した訓練を実施し、安全に避難誘導ができるよう、訓練内容のブラッシュアップを行った。新型コロナウイルス感染症対策については、主催者との打合せにおいて、感染防止対策の確認を行うとともに、公演のチケット

	適切な管理運営	A	ト販売において、キャッシュレス決済を新たに導入するなど、感染防止対策の徹底に取り組んだ。
	適切な財産管理	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適切に実施されており、主催者に対しては、イベント運営や舞台全般に対するきめ細かい助言を行った。職員がサービス介助士の資格を取得し、来所者の問い合わせや要望に迅速に対応するなど、あらゆる人が利用しやすい環境整備に努めた。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	S	文化芸術振興事業は 27 事業を計画し、新型コロナウイルス感染症の影響により、5 事業が中止となり、感染防止対策を徹底した上で、22 事業を実施した。北総四都市文化紀行、地域のアーティストによるルーエプロジェクトなど、県東部地域の文化芸術振興の拠点施設として、地域の特性を活かした多彩な事業を企画した。また、県立文化会館 4 館連携事業、県内各地におけるアウトリーチ事業、公演のライブビューイングや動画配信など、県立文化会館 4 館の指定管理者となったことによる新たな事業展開を図り、感染症の影響下においても、県民が文化芸術に触れる機会の充実に取り組んだ。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	職員による積極的な支援など、ソフト面のサービス充実を心がけるとともに、利用者からの要望にも迅速に対応した。また、県立文化会館 4 館の指定管理者となったことを活かし、4 館の主催事業の情報が一元化されたイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの 4 館取り扱いなど、利便性向上を図った。地元市や地域のアーティストと連携した文化事業、幼稚園やこども園でのアウトリーチ事業、学校と連携したギャラリー展示、社会科見学の積極的な受入など、地域との連携を深め、地域の方に親しまれる施設の管理運営に取り組んだ。
施設利用状況に関する事項		A	利用人数、利用率、利用回数は、感染症影響前の平成 30 年度との比較では減少したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の利用制限等の影響を受けたものであり、やむをえないものと思われる。昨年度との比較では、ホームページ等による広報のほか、近隣学校に練習利用の案内をするなど、施設の利用促進に努めたことにより、利用状況に回復が見られ、大ホール利用率は 43.4% (前年度 27.5%) となった。また、利用料収入も事業計画を上回った。
管理運営体制		A	施設を管理運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。危機管理対策や事業企画、アートマネジメントなど、様々な研修機会を設け、職員の能力向上に努めた。
収支状況		A	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当初の計画では赤字を見込んでいたが、新たな助成金獲得や経費の縮減

		等に取り組んだ結果、黒字に転換した。
利用者意見の反映 利用者満足度	A	フロアにアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して、迅速に対応した。施設全体の満足度については、「満足」と「やや満足」で100%だった
総合評価	良好	各項目の合計点数 22点/30点(73%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染防止対策を徹底した上で事業を継続し、地域の文化芸術活動が停滞することがないように取り組んだ。 ・文化芸術振興事業においては、地域のアーティストと連携した事業を企画するなど、地域の特性を活かした多彩な事業を実施した。 ・施設の管理運営については、利用者が安全に安心して利用できる環境を整えるとともに、利用者の目線に立った質の高いサービスを提供し、高い利用者満足度を維持することができた。 ・県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館統一デザインによるホームページの改修、4館の主催事業の情報を一元化したイベントカレンダーの作成や文化情報誌の発行、公演チケットの4館取り扱いなど、一層の利便性向上を図った。文化芸術振興事業においても、4館連携事業を企画するなど、4館連携による新たな事業展開を図った。
次年度に向けて改善が望まれる点	特になし。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策については、主催者との打合せにおいて、感染防止対策の確認を行うとともに、公演のチケット販売において、キャッシュレス決済を新たに導入するなど、引き続き、感染防止対策の徹底に取り組んだ。 ・文化芸術振興事業については、地域の特性を踏まえた企画に加え、県立文化会館4館の指定管理者となったことを活かし、4館連携事業を企画するなど、新たな事業展開を図った。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。